

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校 保護者等数（児童数）：10 回収数：10 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			3	コロナ対策で中に入ったことがないのでわからない	面談の際には2階の部屋にご案内し、1階も含め各部屋の紹介をしていきたい
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8		1	1	職員によって対応がまちまち	全員が資格をもっており、専門的な研修を受けており、職員間での申し送りを行っていることを都度お伝えしていく
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2		3	コロナ対策で中に入ったことがないのでわからない	面談の際には2階の部屋にご案内し、1階も含め各部屋の紹介をしていきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			3	コロナ対策で中に入ったことがないのでわからない	面談の際には2階の部屋にご案内し、1階も含め各部屋の紹介をしていきたい
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか		2		1	固定化することが悪いことだと思います	個別支援計画に基づき、固定化した方がいい場合とそうでない場合があるので臨機応変に考えていくようにしていきたい

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	2	同じ時間に利用する他者との交流はあると思います 個別といった特性上難しいと思ったので「どちらともいえない」を選択しました コロナ禍では無理だが、そういった機会も今後持てると思う	個別対応の「きらり」で幼稚園やこども園の子どもたちと接する機会はなかなか持てないと思うが、もし今後機会をもつことができれば、支援に活かしていきたい
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	3	2	2	その日のプログラムの説明は受けているがさらに進んだアドバイスまではまだ受けていない プログラムとしてはわからないが、職員はよく話を聴き、困ったことに対しアドバイスをくれるので満足している	具体的なペアレントトレーニングは行っていないが、例年は「きらりカフェ」といった保護者会を行い、その中で話をしたり、個人面談で、保護者に対しアドバイスや提案などは行っているため、今後も可能な限り、続けていきたい
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1		1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3	1			6か月毎に全ての保護者と面談をするようにしている 新規のかたに対しては契約の際に保護者のご要望に応じ面談をする旨はお伝えしている
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	4	1	開催できないのは、感染対策のため	例年は「きらりカフェ」（保護者会）を行い、意

						めだと理解していません 今はコロナ禍で難しいと思うが保護者との交流（情報交換）の場を作ってもらえると嬉しい	見を交換する場として開催し、先輩保護者の体験談などを利することができるように企画している	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			3	相談をすると、何らかのかたちで対応してくれる	保護者からの相談や申入れについては、全職員で共有し、対応するように努めている
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2	1	1		保護者のメールアドレスを伺い、全ての保護者に対し一斉にお知らせを配信する、LINEも活用するなどして、連絡手段を増やしている 紙媒体のたよりも定期的に配布し、お知らせや連絡事項などをお伝えしている きらりのホームページのQRコードをお伝えし、見ていただくようお願いし、事業所評価についてもホームページに掲載していることをお伝えしている 新規利用のかたにも再度お知らせしていきたい
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1		2		新規のかたには契約の際にお伝えしているが、新年度の初めには毎年お伝えするようにしていき、周知していきたい
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		2		新規のかたには契約の際にお伝えしているが、新

							年度の初めには毎年お伝えするようにしていき、周知していきたい 磐田校のブログでは、毎月訓練の報告をしているが、まだご存じでない方がいらっしゃるので、周知していきたい
満足度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	10				とても優しく接してくれていて、本人も楽しく通っています 利用児がみな喜んで通所できるような魅力ある支援内容をさらに工夫していきたい
	㉕	事業所の支援に満足しているか		1			困っていることなど相談するとすぐに対応してもらえるのでとてもありがたく思っている

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」磐田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	個に応じて支援室を変え、衝立や個室を使うなど配慮をしている	
	②	職員の配置数は適切である	7	0	法令を守って配置している	増員が望ましい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	4		2階があるため、2階へは階段以外の方法で上がることができないため、完全なバリアフリーとは言い難いが、可能な限り、個に合わせた部屋での支援を行うようにしている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日当たり前ではあるが清掃をし、出勤職員が少ない日には、自動掃除機を活用し、常に清潔を保つようにしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2	年度初めに年間計画を職員全員で考え、共有するようにし、担当者が率先して指揮を執り、行動している	会社から 数値を押し付けられていると考えている職員がいるが、利用者のことを考え、可能な限りご利用いただくことが当たり前だと考える職員もいる
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		事業所評価を行い、ホームページに上げていることをご存じでない保護者もあるため、都度保護者には伝え、意向を把握しながら、業務の改善に努めていきたい
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		ホームページやブログの QR コードは都度お伝えし、校舎内外に掲示もしているが、気づいてもらっていない保護者もあるので、繰り返し伝えていきたい
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	契約時に保護者には伝えていないが、行っていない	今後第三者評価を行う際には、保護者の皆さんにはすぐにお伝えする

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	会社としては研修の機会を用意してくれている	発達支援研究所の研修に参加できていない
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1		アセスメントはきちんと行っている家庭とそうでない家庭があったので、次年度は全員きちんと行えるようにしていきたい
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	会社として標準化されているものがある	使いこなせていない場合があるので、次年度は使いこなすようにしていきたい
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	3	支援計画の中に項目を分け、できるだけそれぞれについての支援内容を記載するようにしている	職員が把握していない点があるので年度初めに共有するようにはしていきたい
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2	保護者の意向を取り入れた計画となっているので、ほぼ計画に沿った支援を行うことができる	毎回支援終了後の申し送り時に、保護者の要望があった際には、確実に全職員で共有するようにしているため、次回の支援に活かせるようにしている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		半年くらいを目安に3名体制の支援にしていき、ある程度チームで行うようにしていく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	プログラムが固定化している方がいい場合もあるため、個によって異なるが、それぞれの利用児によって工夫をしてプログラムを考えている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7	0	個別支援であるので、利用児によって適宜組み合わせている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日朝礼を行い、その日の利用児によって支援の部屋割りを考え、より効率的で質の高い支援ができるように工夫している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日の朝礼で、昨日の支援について申し送りをするとともに、記録を残し、全員	

				が共有できるようにしている		
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	当たり前ではあるが、必ず記録を残し、全職員が見ることができるようにし、支援の検証や改善につなげている	
	㉓	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	保護者にも半年に一度以上面談を行う旨伝えてあり、保護者から面談を希望して来てくださる場合もある	面談の日時を調整することでなかなか面談に至らない家庭にもできるだけ早く面談の機会を設けていくように配慮していく
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	担任制ではないが、ある程度利用児のことをよく把握している職員が参画するようにしている	なんで自分が？という人がいたが、全ての職員にこういった会議には参加して欲しいため、時には、一番よく知っているというわけではなくても、参画してもらうことがある
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	5		市役所の関係部署とは連携しているが、支援に関しての連携はあまりない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7		対象となる利用児はいない
	㉕	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7		対象となる利用児はいない
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3	保護者の要望のもと、相談支援事業所や園とともに関係機関連携会議を行った	保護者の要望をもとに行っていく
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	7		今年度は行わなかったが、これまでには行ったことがある 保護者の要望をもとに行っていきたい
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	他市ではあるが、専門機関の臨床心理士の指導を受け、研修を行う機会が年に5回ある	今後も引き続き、研修に参加し、療育に関する知識や技術について学び、向上していきたい
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		個別対応での支援なのでこういった機会をもつことは難しいが

					利用児の兄弟と関わる機会もつことができると思うので、コロナ禍が終わったらイベントにおいて考えていきたい	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7		今年度はコロナ禍で参加できなかったが例年は参加するようにしている
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		支援終了後の申し送り時や面談の際には共有しているので今後も続けていきたい
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7		ペアレントトレーニングはしっかり研修を受けているわけではないのでまだ難しい
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	契約時に説明を行っている	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	支援計画の更新時には必ず全ての保護者と面談を行っている	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	定期的にというわけではないが、都度行っている	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	例年は行っているが今年度はコロナ禍で行うことができなかった	場に集まって行うのではなく、オンラインでの保護者会を企画している
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談や申し入れについては、必ず全職員で共有するようにし、管理者や担当が対応するようにしている	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	保護者宛一斉にメールやLINEなどでお知らせを送ることや、たよりを配布することで、発信している	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報が記載されているものは、全て鍵のかかる書庫に保管している	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	一人一人に分かりやすい方法で意思の疎通や情報伝達に配慮している	

非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	0	7		特性のある利用児を理解してもらえるのか疑問ではあるが、地域自治会の総会には管理者が参加している
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	5	契約時に、緊急時にはどのようにすればよいかということを書面でお渡しし、説明をしている 校舎内の各種マニュアルは、保護者には特に開示していない 毎月防災に関する訓練を計画し、事前に利用児に予告し、当日終了後は、掲示したりブログに載せたりしている 地域の「こども110番」を掲示し、利用児には関心をもちさせている	保護者への周知に関しては一年に一度ではなく何回もお知らせしていきたい 特にホームページやブログに載せてあることは、校舎内外に掲示、メールやLINEで報告なども継続的にしていきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	毎月訓練を行っている	同上
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	毎年年度初めに記入していただく基本情報シートに、最新の情報を記入していただくため、現在服用している薬の情報は把握している	年度の途中で服薬内容が変わった場合、連絡をくださる家庭が多いが、連絡のない家庭や、利用児が勝手に服薬の調整をしている場合があるので、保護者との話の中で都度、状況を確認、把握するようにしていきたい
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	7		飲食を伴うことがないため、このことに関しては特に対応していない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリとする出来事が起こった場合には、すぐにヒヤリハットを作成するようにし、全職員で共有し、同じことが再度起こらないように注意している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	5		例年は、虐待防止研修に参加しているが、今年度は研修そのものが開催されなかったため、研修会参加の確保ができなかった

					職員間では、改めて過去の虐待防止に関する記事や研修の記録を読み返す等の校舎内研修を行った
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	契約時に保護者には伝えている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。